

青葉の森公園
芸術文化ホール
イベント
レポート

当ホール主催の公演・講座の雰囲気やみなさまに発信する、「サポーターライターズ」の方によるレポートをお届けします。

プロムナードコンサート
PROMENADE CONCERT Vol.35

出演
ピアノ
平野 裕樹子 Yukiko Hirano
ピアノ
ジュリアーノ・アドルノ Giuliano Adorno

ソプラノ
西川 直美 Naomi Nishikawa

2019年
11月30日
[土]
開演
11:00



連

日の雨がやんでよく晴れた11月30日(土)のお昼に「プロムナードコンサートVol.35」が開かれました。

はじめにピアノの平野さんとアドルノさんへのインタビュがあり、イタリア人のアドルノさんは日本へは今回が2回目の来日だということに分かります。20日ほど滞在される予定で、ピアノのお2人ですでにいくつかのコンサートをさされてきたのだそうです。そこに今日はソプラノの西川さんが加わります。

コンサートはワルツ王ヨハン・シュトラウス「春の声」から幕を開

けました。一台のピアノを2人で弾く連弾です。MCで、「片手パート分を別の人が弾く連弾というかたちは実はとても難しい」と平野さんは言いましたが、相手のリズムを感じながら息ぴったりな演奏をするのはお見事としか言えません。

「サウンド・オブ・ミュージック」より「ドレミの歌」では、会場の大人も子どもも一緒になって歌いました。1番は日本語、2番は英語になりましたが、それでも歌える方が沢山いたのにはとても驚きました。

ミュージカル「キャッツ」より「メモリー」は私も大好きな曲です。

ピアノが二台とソプラノの、3人での演奏になりました。ピアノは向かい合わせでお互いの顔がわずかに見える距離だと思えますが、タイミングを合わせるためにたくさん練習されたのだろうと感じました。西川さんののびやかな歌声が響きわたり、とても心地よい演奏でした。

「ボレロ」では、いつもはオーケストラで聴いている曲が二台のピアノで聴けてとても新鮮に感じました。主旋律が交互に何度も入れかわりとても難しそうに感じましたが、やはり息がぴったりでした。

「ウエストサイドストーリー」より「マンボ」では、曲の途中で「マンボ」というかけ声をかけるところが二ヶ所あります。西川さんと事前にかけて声の練習をして、会場も一緒に盛り上がりました。

全13曲の演奏が終わると会場からアンコールの声が2度もかかり、クリスマスの曲と「トルコ行進曲」の演奏で幕を閉じました。

この「プロムナードコンサート」は0才から無料で聴けるコンサートで、年に4回開かれています。今回も小さなお子さんたちがたくさん聴きにきていました。私も前席の子に何度もほほえみかけられ、とてもほっこりした気分が演奏が聴けました。

サポーターライターズ 岡野 愛子

